

幼小一貫教育において、生活と学習をつなぎ、
 同年齢や異年齢で協働的に探究を深め、
 多様な能力や個性的な才能を引き出す
 「生活学習力」を育成する教育課程の研究開発

子どもの多様な能力や個性的な才能は、
 生活と学習をつなぎ住還させることで引き出され、高まることに着目し、
 子どもの発達段階に即して「生活学習力」を育成する、
 幼小一貫の初等教育課程を開発しました。

子どもの姿をみるとということ

砂に水を混ぜて、型の中に入れて固めることを楽しんでいる

オオカミになって、お客さんが来るのを楽しみに待っている

砂型に砂を入れるために砂場を掘ったら、掘ることが楽しくなってきた

様々な色や形の砂型を並べることを楽しんでいる

平成27-30年度 文部科学省研究開発学校 公開研究会(第4年次)

研究開発課題
 幼小一貫教育において
 生活と学習をつなぎ、
 同年齢や異年齢で協働的に探究を深め、
 多様な能力や個性的な才能を引き出す
 「生活学習力」を育成する教育課程の研究開発

平成30年11月3日(土)
 奈良女子大学附属幼稚園 奈良女子大学附属小学校

「生活学習力」を育む評価の観点

- ①「学び文化を伝承する」
- ②「追究するに値する対象を選択する」
- ③「独自性・独創性」
- ④「少し先の自分の学びを予想する
(学習の見通し)」
- ⑤「自分事にする」
- ⑥「課題解決に向けて、工夫することを楽しむ」
- ⑦「自己評価する」
- ⑧「互いに高め合いながら探究する」

「育ちの履歴」にみる活動例

生活学習力の展開と深化

年齢	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
区分	初等教育前期		初等教育中期			初等教育後期				

なかよしひろば 5歳・1年・2年

5歳・1年・2年の子どもが活動を通して互いの良さを見つけ、経験を生かしたり友達と協力したりしながら探究することの楽しみを味わう。